

第12回 松崎奈岐フルートリサイタル

flute recital

フルートとチェンバロの夕べ

2013年11月9日(土) 14:00開演(13:30開場)

近江楽堂(東京オペラシティ3F) (京王新線初台駅直結徒歩7分)

【プログラム】

G.サンマルティーニ : フルートソナタ ヘ長調

J.B.ポアモルティエ : 2つのフルートのための組曲 1番 ハ長調

C.テッサリーニ : フルート(ヴァイオリン)とチェンバロのためのソナタ
1番 変ロ長調

日本のメロディ(フルートソロ、無伴奏) : 古謡と演歌



松崎奈岐
(フルート)

数学者、東京学芸大学名誉教授、元新潟国際情報大学教授、学芸大学退官後1991年、元インスブルック交響楽団のフルート奏者新谷要一氏と出会い、はじめてフルートを手にする。以来音楽のなかの数学の要素に魅せられ、今は音楽が主たる仕事になっている。フルートによる音楽表現が自身の表現につながるを感じる時、音楽の論理の美が表出される。2002年から毎年フルートリサイタルを実施。



新谷久子
(チェンバロ)

東京藝術大学楽理科中退、1981年ベルリン芸術大学卒業、ヨーロッパ各地でのコンサート、放送録音の後、帰国、アンサンブルレロココ工房。



新谷要一
(フルート)

東京藝術大学卒業、1978年ベルリン芸術大学卒業、ドイツ、オーストリアのオーケストラを経て、現在東京学芸大学で後援の指揮にあたる。

入場無料

お問い合わせ : tel.03-3827-5033